

February

サンセイランディック関西便り Vol.70

平成30年2月号

サンセイ ニュース

立春が過ぎ暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いている2月です。

インフルエンザが記録的な大流行との報道がありました。中でもB型に感染すると、インフルエンザ特有の高熱が出にくく、感染に気付きにくいとか。鼻の中を綿棒でぐりぐりされるのはツライものですが、少しでもあやしいと感じるときはお医者様に診て頂きましょう。年明けから第43期が始まりました。

更なる成長を遂げるため全社員、職務にまい進いたしますのでどうぞ宜しくお願いします。

さて、今月は三課が担当している京都の話題です。京都市では積極的に無電柱化を進めています。

市内では祇園の花見小路通や御池通で電柱が取り除かれ、先斗町通でも撤去されています。一般的に「電柱や電線があると、景観が損なわれる」という考えがあります。遠くから歴史的な名所を眺めようとした際、周囲に電柱があると視界を遮ったり、風情が薄れます。市では目標とする地区で無電柱化を達成する為には、1,000億円規模の予算が必要と考えられています。毎年、10億円ほどかけ事業を進めていますが、単純に100年掛る計算です。欧米では、電線の地中化が古くから進んでおり、ロンドンやパリでは100%に達し、アジア諸国でも香港が100%を達成したほか台北が90%以上の地中化率を誇っています。日本では設備の進んでいる東京23区で7.8%、京都市内ではわずか2%になっています。諸外国と比較すると遅れているものの、日本にも「無電柱化」「電線地中化」を目指す動きはあります。2020年の東京オリンピック、パラリンピック大会を意識した設備計画があり、2017年6月には東京都で「無電柱化推進条例」が可決されました。電柱を無くすことに対しては様々な意見があると思われませんが、電柱の地中埋設工事が進むと電線の空中越境等問題は解消できるのではないのでしょうか。京都では、幅員が狭い道路が多く電柱が敷設されていることにより、人々の安全な通行に支障をきたすことがあります。阪神・淡路大震災で経験されたように、倒壊した電柱は避難経路を塞ぎ、救助の妨げになるなど、住民の皆様の安全な暮らしを脅かすこともあるのです。サンセイランディックでは越境のある物件、電柱等が存する物件でも公簿売買により買取可能です。社員一同、皆様からのご相談お待ちしておりますので宜しくお願い致します。

社員の 独り言

1月に入りメンバーと共に千本鳥居で有名な伏見稲荷大社に初詣に行っていました。

夕方に参拝しましたが、外国人の多さに驚いてしまいました。千本鳥居といいますが、実際は3,000本以上あるそうです。少しずつ古い鳥居を回収し、新しい鳥居を奉納してもらっているようですが、大人気で何年も順番待ちしなくてはならない状況とのことです。また、無数の朱色の鳥居が並ぶ千本鳥居の景色は、Most beautiful part of Kyoto.. A MUST VISIT (京都の中で最も美しい場所、絶対に訪れるべき観光地) と絶賛されており、トリップアドバイザーの外国人に人気の日本の観光スポットランキングで堂々の1位に輝いていた事を思い出しました。インスタ映えもばっちりのスポットです。他にも、お稲荷さんと言えば商売繁盛を祈願する“商売繁昌”の神様としても有名ですので、メンバー一同で祈願してきました。

夜は新年会で、今回は木屋通りにある「肉なベ千葉」で行いました。豚骨スープに満帆に入った肉なべがメインのお店です。たまに食べてみたくなる味で、またいこうと思います。

営業：星



底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 関西支店
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3階
TEL : 06-4706-0040 FAX : 06-4706-0045

底地くん

